

2018年度・学力考査問題

(中学第2回)

【社会】

注 意

1. 試験時間は40分です。
2. 解答用紙のみ試験終了後集めます。
3. 問題は9ページで3題あります。開始の合図で必ず確認し、そろっていない場合にはすぐに手をあげなさい。

1

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

昨年、政府は「女性活躍加速のための重点方針 2017」を打ち出し、あらゆる分野での女性の活躍をおし進めることを決めました。

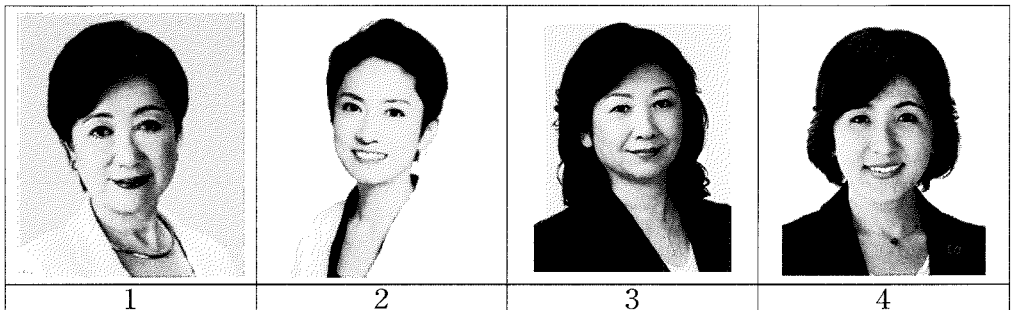
近年、政治の世界で女性の活躍に注目が集まっています。日本では東京都知事となったア小池百合子氏の^{どうこう}動向が話題となり、では保守党のメイ首相がキャメロン政権を引き継ぎ、ドイツでは首相がEUで強力なリーダーシップを発揮しました。台湾では蔡英文氏が初の女性^{そうとう}総統に選ばれました。一方、企業においても活躍する女性が増えてきています。それではここで日本の女性の活躍を少し振り返ってみましょう。

ィ明治期、製糸業や紡績業が発達する中で、その工場労働者の多くはと呼ばれる女性が占めていました。厳しい労働条件のもとでしたが、日本の産業革命を支えたといえます。文化の分野では『たけくらべ』の著者である樋口一葉や女子英学塾（現在の津田塾大学）をつくった、「う君死にたまふことなかれ」の詩で有名ななどの活動が有名です。

女性の活躍は各分野でありましたが、日本で女性に参政権が与えられたのはエ第二次世界大戦後でした。戦後はオ憲法も改正され、男女平等がうたわれています。政府は1985年に法を制定し、職場での男女の平等な扱いを義務付けました。しかし、女性が社会で活躍する上で難しい面も残っています。政府は次のステップとして「カ働き方改革」や男性の暮らし方・意識を変えることで、女性活躍をすすめていく方針です。キ少子高齢化が進む中で、私たち一人一人が住みやすい社会を作るために行動するとともに、今後の政府の活動に注目していくことも大切です。

問1 文中の～にあてはまる語句・人名を答えなさい。

問2 下線部アについて、小池百合子氏の写真として正しいものを、次の中から1つ選び、番号で答えなさい。



問3 下線部イについて、この時期の産業に関する文のうち、誤っているものを、次の中から1つ選び、番号で答えなさい。

1. 政府は紡績工場として八幡製鉄所を作った。
2. 政府は殖産興業をスローガンに産業革命をおし進めた。
3. 政府は三井や三菱などの実業家に官営の工場などを払い下げた。
4. 政府は群馬県に富岡製糸場を建て生糸の増産につとめた。

問4 下線部ウについて、この詩は戦地の弟を思い、ある戦争への疑問を表したものです。この戦争の説明として正しいものを、次の中から1つ選び、番号で答えなさい。

1. この戦争は朝鮮への支配を強めようとする中国との戦争であった。
2. この戦争の講和条約はアメリカの仲介で結ばれた。
3. この戦争に勝利した日本は、下関条約で多額の賠償金を得た。
4. この戦争に敗北した日本は、朝鮮の独立を認めた。

問5 下線部エについて、この戦争中にあったできごととして正しいものを、次の中から1つ選び、番号で答えなさい。

1. 戦争中、日本は韓国に二十一カ条の要求をつきつけた。
2. 日本はドイツとイギリスと同盟を結んだ。
3. アメリカが日本への石油などの輸出を禁止したため、対立が深まった。
4. アメリカは8月6日に長崎、9日に広島へ原子爆弾を投下した。

問6 下線部オについて、日本国憲法の説明として正しいものを、次の中から1つ選び、番号で答えなさい。

1. 日本国憲法では主権は天皇にあり、天皇は日本の象徴であると定められている。
2. 天皇は内閣の助言と承認にもとづき、国事に関する行為を行う。
3. 国民に参政権が認められており、衆議院と貴族院の議員を選ぶことができる。
4. 国民の義務として勤労・納税・兵役を定めている。

問7 下線部カについて、政府は働き方改革の中で、仕事と子育てなど仕事以外の生活との調和をはかることを提唱しています。“仕事と生活の調和”を表す次の言葉の空欄にあてはまる語句を答えなさい。

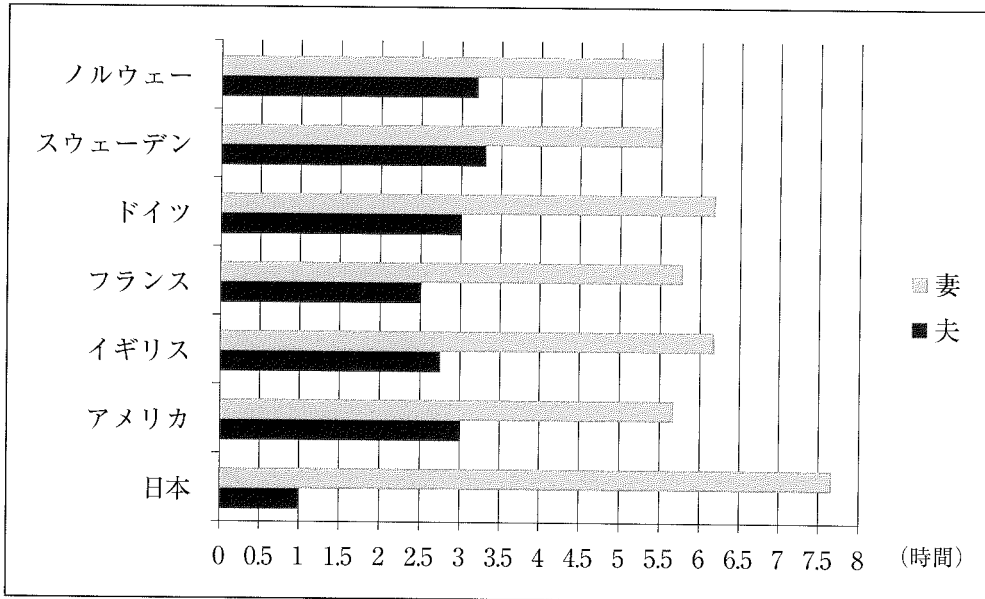
「ワーク・ライフ・」

問8 下線部キについて、少子高齢化に関する文として誤っているものを、次の中から1つ選び、番号で答えなさい。

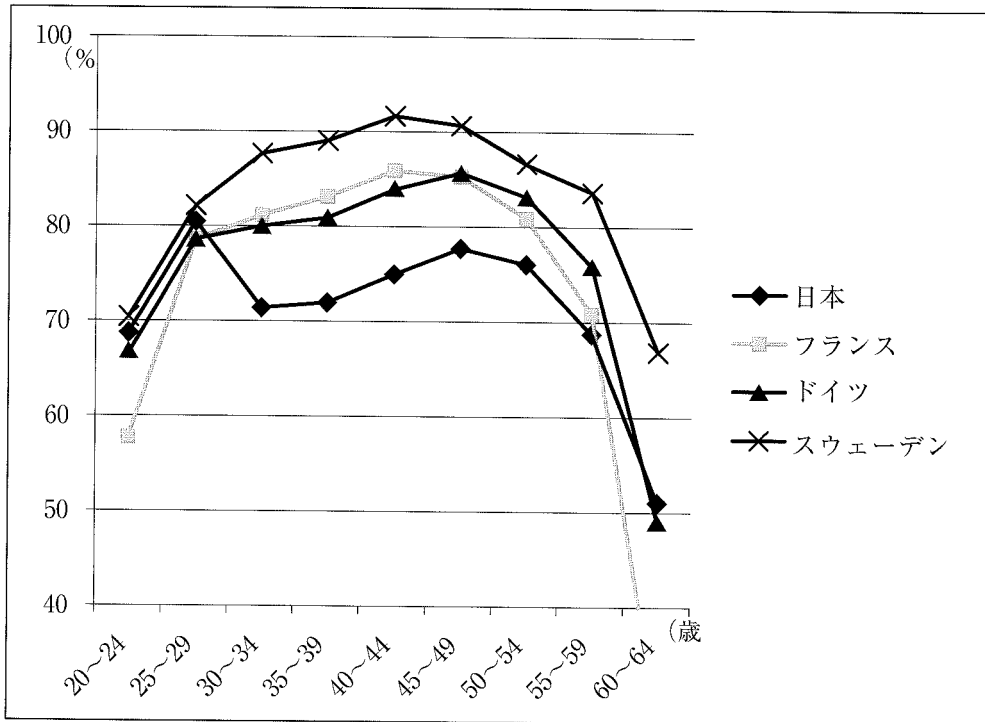
1. 戦前に比べて、女性一人当たりの子供の出生数が減少し、少子化が進んだ。
2. 近年、出生数が増えない原因には、子育ての環境が整っていないことや、晩婚化・非婚化が進んだことなどがある。
3. 現在、日本では総人口に占める65歳以上の人の割合が20%を超えている。
4. この数年、15歳から64歳までの「生産年齢人口（労働力人口）」は急激に増加している。

問9 波線部について、日本において、職場で活躍したいと思う女性を支えるためにはどうしたらいいと思いますか。右の資料から読み取れることと、それを改善するための方法として考えられることを答えなさい。

<資料1>子育て期にある夫婦の1日あたりの家事・育児時間



<資料2>主要国における女性の年齢階級別労働力率



(内閣府男女共同参画局資料より作成)

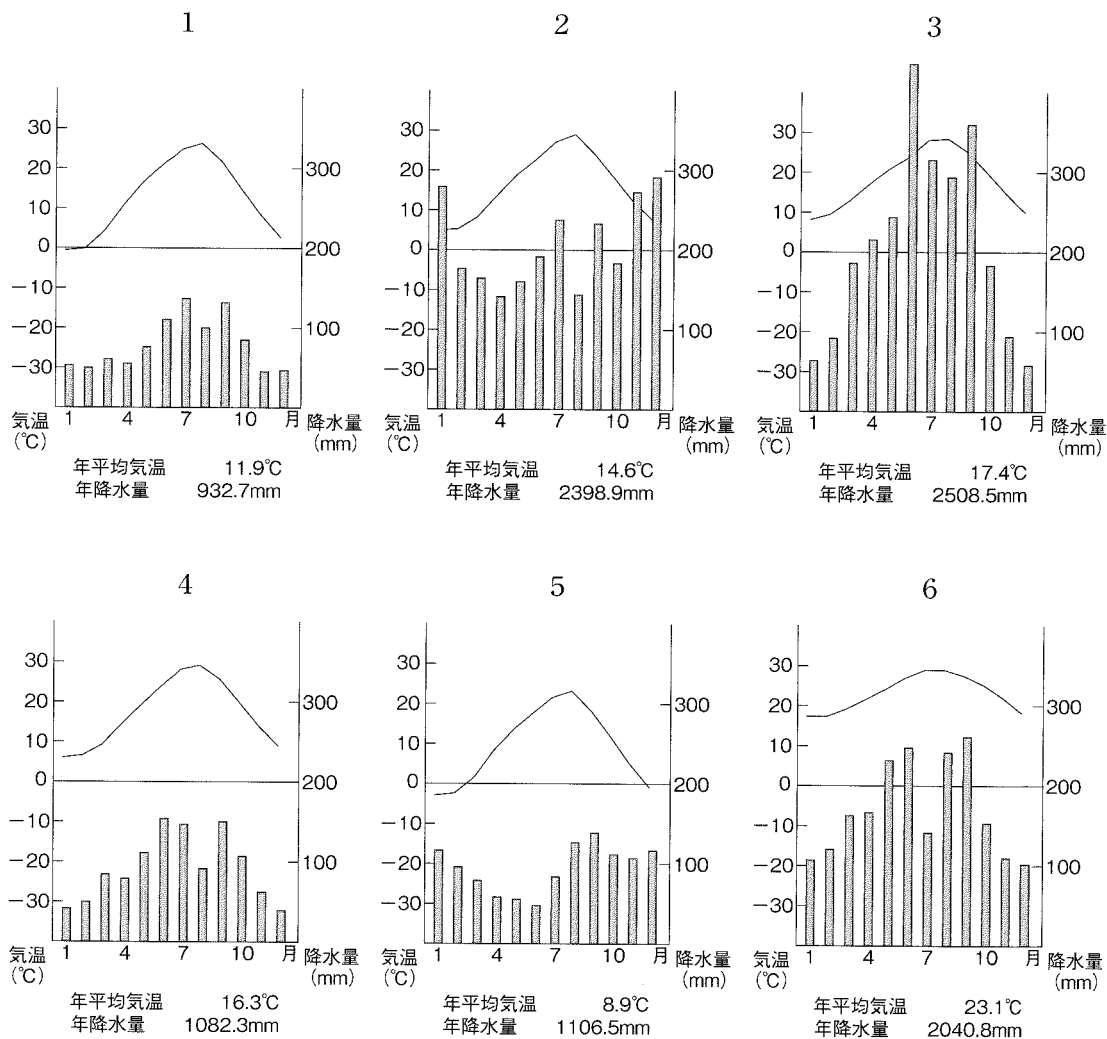
2

次の地図を見て、後の問いに答えなさい。



問1 地図中ア～カの都道府県の、都道府県庁所在地名を答えなさい。

問2 地図中ア～カの都道府県庁所在地の雨温図にあてはまるものを、次の中からそれぞれ選び、番号で答えなさい。



地理統計要覧 2017年版 (二宮書店) より作成

3

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

昨年は日本国憲法が施行されてから70年目の節目に当たる年でした。

日本では聖徳太子(厩戸王)が中心となって604年に憲法十七条を定めました。はっきりしない部分がありますが、これは文書の形をとった法(成文法)としては、日本では早いものといえるでしょう。604年当時、①という国名であった中国は、すでに律令という詳細な法を整えていました。日本は律令を取り入れて701年に大宝律令を定めました。律令は奈良時代から平安時代にかけて修正や追加を加えながら用いられ続け、その効力は小さくなったものの、明治維新まで使われました。

貴族に代わって政治を担った武士は慣習を重んじました。武士による本格的な成文法としては、鎌倉幕府が1232年に定めた②式目が早い例で、3代執権北条泰時が中心となって決めました。この式目は次に成立した③幕府にも基本的に継承され、戦国大名たちが定めた法にも大きな影響を与えています。

江戸幕府は1615年に大坂(阪)夏の陣で④氏を滅ぼすと、⑤を定めて大名を、禁中並公家諸法度を定めて朝廷をそれぞれ支配しました。幕府や藩は庶民に対して、「お触れ」を高札場などに掲示して、文章で法を示しました。

明治になると、欧米から人権やデモクラシーの思想が伝えられるとともに、近代的な法制度の導入が図られました。それは江戸幕府が結んだ不平等な条約を速やかに改正するための条件でもありました。1889年には、天皇主権や形式的三権分立などを定めた⑥が發布されました。開設された帝国議会では⑦を党首とする自由党や、大隈重信らの立憲改進黨などの政党が活動し、さまざまな法律が制定されました。本来、法は国民の権利・福祉を維持・拡大してゆくことが前提として求められていますが、昭和初期までの法律の中にはそうとはいえないものもありました。

問1 文中の①～⑦にあてはまる語句・人名を答えなさい。

問2 下線部アについて、平安時代にあったできごとの説明として、誤っているものを、次の中から1つ選び、番号で答えなさい。

1. 幼少の推古天皇の祖父として、藤原良房が初めて摂政となった。
2. 9世紀の終わりに、菅原道真の提案で遣唐使が廃止された。
3. 藤原道長の子である藤原頼通は、平等院鳳凰堂を建立した。
4. 平治の乱に勝利した平清盛は武家として初めて太政大臣となった。

問3 下線部イについて、以下の問いに答えなさい。

- (1) 鎌倉幕府について、以前は1192年成立とする考えが有力でしたが、最近では1185年成立とする考えも主張されています。以下のⅠ・Ⅱは1185年のできごとです。Ⅰ・Ⅱのいずれかを選び解答欄に丸をつけ、どうしてこのできごとによって鎌倉幕府が成立したといえるのか説明しなさい。

Ⅰ. 壇の浦の戦いがおこった。

Ⅱ. 源頼朝が全国各地に警察、軍事を担当する役人をあらたに置いた。

- (2) 鎌倉時代のできごとⅠ～Ⅲを古い順に並べたとき、正しいものを、下から1つ選び、番号で答えなさい。

Ⅰ 文永の役

Ⅱ 承久の乱

Ⅲ 弘安の役

1. Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ

2. Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ

3. Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ

4. Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ

5. Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ

6. Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

問4 下線部ウについて、8代将軍徳川吉宗の時、幕府は「お触書^{ふれがき}」や裁判の記録などを調査しました。そののち作られた、法や裁判の基準をまとめたものを答えなさい。

問5 下線部エについて、以下の問いに答えなさい。

- (1) 江戸幕府が日米修好通商条約を結んだ時の元号(年号)として正しいものを、次の中から1つ選び、番号で答えなさい。

1. 寛政

2. 天保

3. 享保

4. 安政

- (2) 次にあげたⅠ～Ⅲの人物を交渉にあたった順に並べたとき、正しいものを、下から1つ選び、番号で答えなさい。

Ⅰ 岩倉具視

Ⅱ 小村寿太郎

Ⅲ 陸奥宗光

1. Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ

2. Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ

3. Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ

4. Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ

5. Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ

6. Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

問6 下線部オについて、昭和20年（1945年）までの法律に関する説明として、誤っているものを、次の中から1つ選び、番号で答えなさい。

1. 国民皆兵を原則とする徴兵令が出された。
2. 普通選挙法が成立し、納税額による制限が撤廃された。
3. 治安維持法が制定され、社会主義運動の取り締まりが強化された。
4. 四大公害病など公害がひどくなり、公害対策基本法が定められた。

【社会】

解答用紙(中学第2回)

1

①	②	首相	③	④	
⑤	⑥		法		

問3	問4	問5
問6	問7	問8

問9

1

2

ア	イ	ウ
エ	オ	カ

ア	イ	ウ	エ	オ	カ
問2					

2

3

問 1

①	②	③	幕府
④	氏 ⑤	⑥	
⑦			

問 2

--

問 3

I (1)	
II (2)	

3

問 4

--

問 5 (1)

--

(2)

--

問 6

--

--

受験番号

--

氏名

--

得点